



転倒災害の発生状況について

令和7年度第1回山口県小売業S A F E協議会（令和7年9月2日）

山口労働局労働基準部健康安全課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

- 1 労働災害の発生状況
- 2 転倒災害の現状
- 3 転倒災害の事例
- 4 転倒災害を防止するために

1 労働災害の発生状況

- 死亡者数は、長期的に減少傾向にあり、過去最少となった。
- 休業4日以上の死傷者数は、近年、増加傾向にあり、4年連続で増加した。

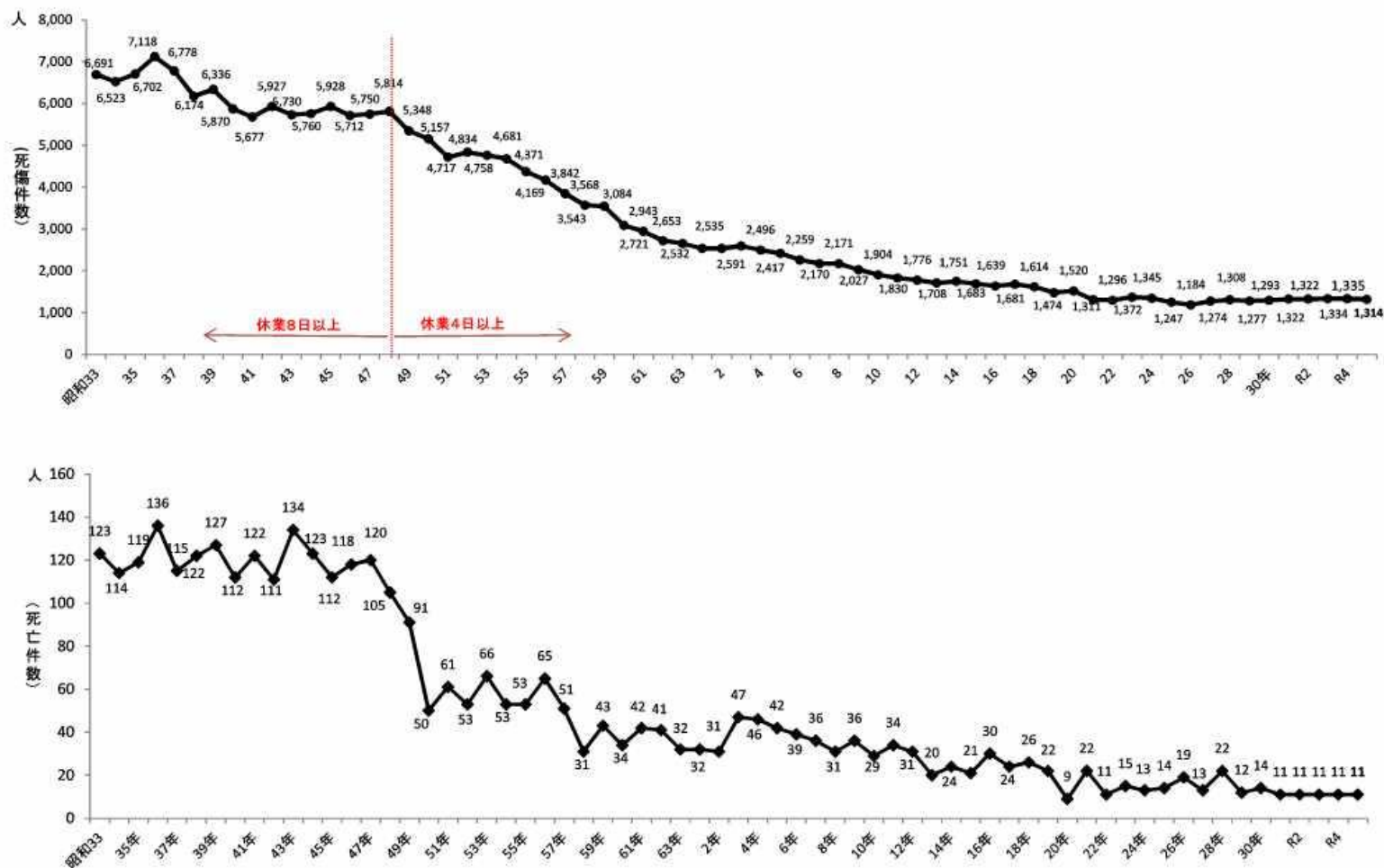


出典：平成23年までは、労災保険給付データ(労災非適用事業を含む)、労働者死傷病報告、死亡災害報告より作成
 平成24年からは、労働者死傷病報告、死亡災害報告より作成
 ※新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除いたもの。

1 労働災害発生状況

山口労働局 労働災害発生状況の推移（昭和33年から令和5年まで）

死傷災害・死亡災害発生件数の推移（労働者死傷病報告による） ※コロナウイルス感染症による労働災害を除く



1 労働災害発生状況

令和6年（1月～12月） 業種別労働災害発生状況 山口労働局

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)

山口労働局

※新型コロナウイルス感染症による労働災害を除く

令和6年確定

労働者死傷病報告による

業 種	死 亡 (前年同期値)	休業災害	合 計	構成比※	対 前 年 増 減 率	増 減 率	転倒災害件数				高年齢労働者(60歳以上)					
							死 亡	休業災害	合 計	構成比※	占 有 率	死 亡	休業災害	合 計	構成比※	占 有 率
全 産 業	9 (10)	1,351	1,360	100.0%	+46	+3.5%		345	345	100.0%	25.4%	5	434	439	100.0%	32.3%
製 造 業	2 (3)	297	299	22.0%	-9	-2.9%		59	59	17.1%	19.7%	2	71	73	16.6%	24.4%
鉱 業		2	2	0.1%	-4	-66.7%							1	1	0.2%	50.0%
建 設 業	3 (1)	183	186	13.7%	+15	+8.8%		18	18	5.2%	9.7%	2	37	39	8.9%	21.0%
運 輸 交 通 業	1 (1)	145	146	10.7%	+25	+20.7%		21	21	6.1%	14.4%		31	31	7.1%	21.2%
貨 物 取 扱 業		12	12	0.9%	+7	+140.0%		4	4	1.2%	33.3%		3	3	0.7%	25.0%
農 林 業	1 (2)	27	28	2.1%	±0	±0.0%		4	4	1.2%	14.3%		6	6	1.4%	21.4%
畜 産 ・ 水 産 業		12	12	0.9%	+8	+200.0%		1	1	0.3%	8.3%		8	8	1.8%	66.7%
第 三 次 産 業	2 (3)	673	675	49.6%	+4	+0.6%		238	238	69.0%	35.3%	1	277	278	63.3%	41.2%
小 売 業		198	198	14.6%	+24	+13.8%		68	68	19.7%	34.3%		86	86	19.6%	43.4%
社 会 福 祉 施 設	1 (1)	109	110	8.1%	-9	-7.6%		40	40	11.6%	36.4%		56	56	12.8%	50.9%
飲 食 店		52	52	3.8%	-1	-1.9%		19	19	5.5%	36.5%		18	18	4.1%	34.6%
そ の 他 の 第 三 次 産 業	1 (2)	314	315	23.2%	-10	-3.1%		111	111	32.2%	35.2%		118	118	26.9%	37.5%

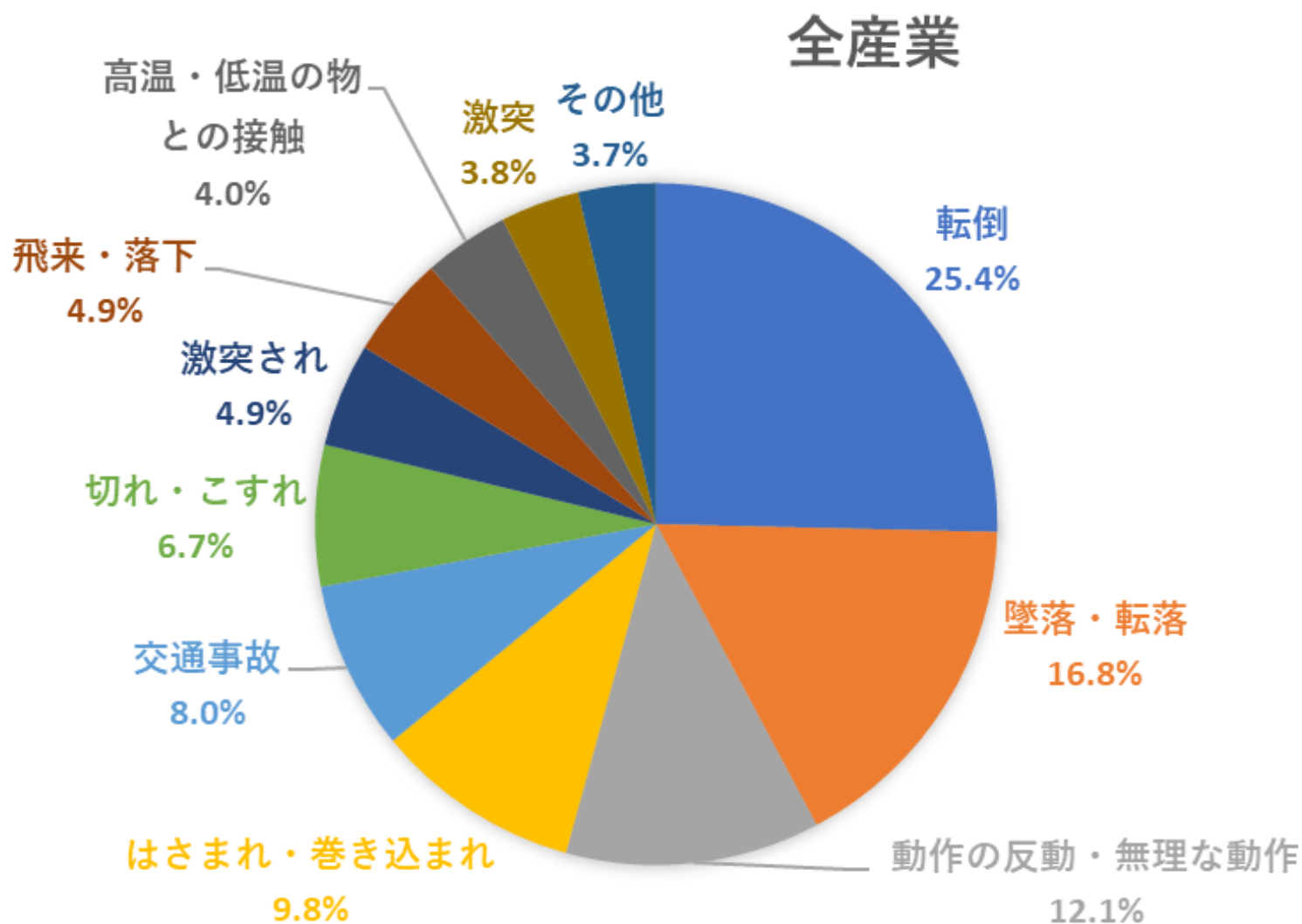
※参考 中高年齢労働者(45歳以上)の女性に係る災害

「転倒災害」345件中、中高年齢労働者の占める割合は85.5%(295件)、中高年齢労働者のうち女性の占める割合は65.1%(192件)。

1 労働災害発生状況

令和6年 事故の型別労働災害発生状況 山口労働局

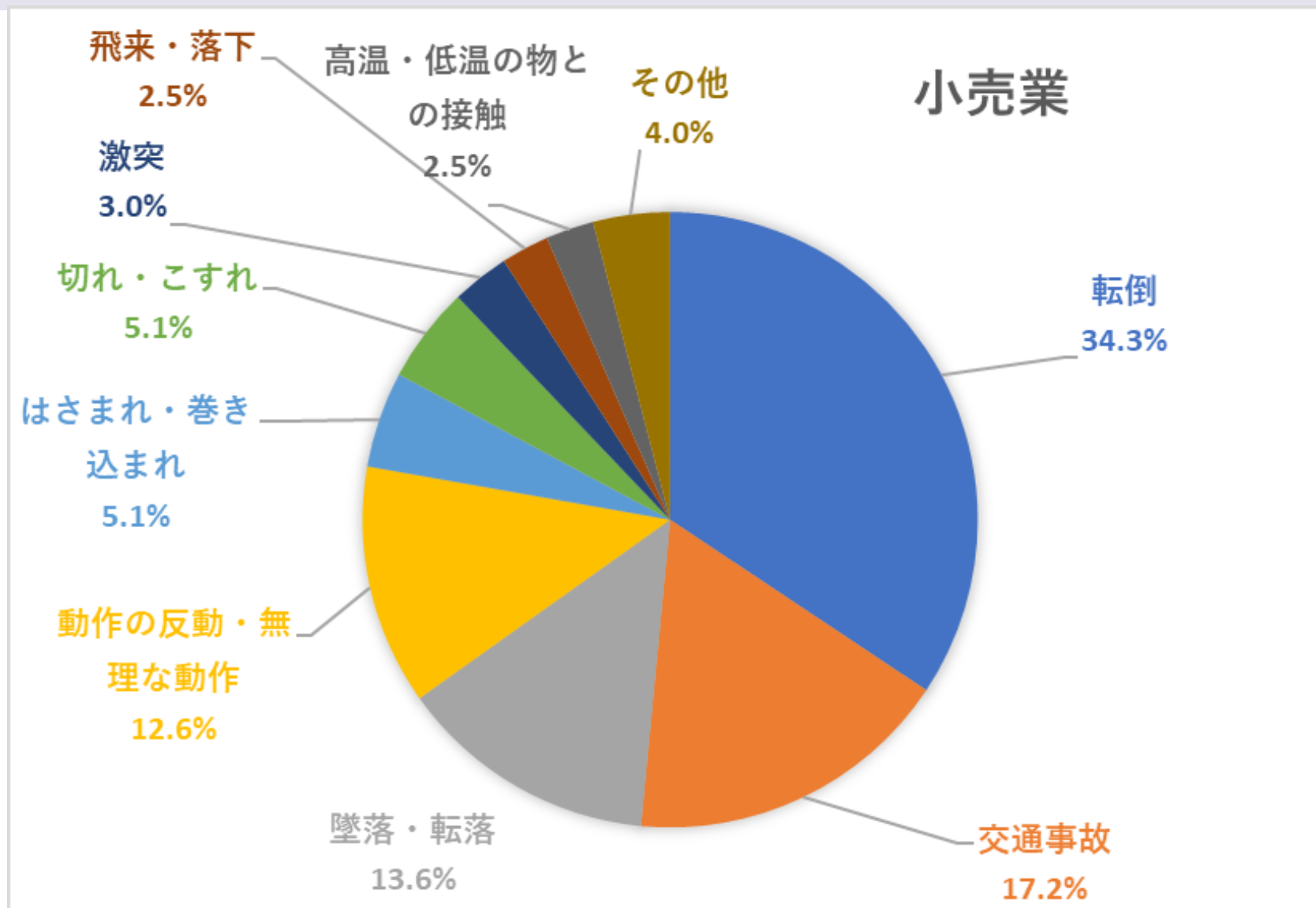
資料出所：労働者死傷病報告



1 労働災害発生状況

令和6年 事故の型別労働災害発生状況（小売業） 山口労働局

資料出所：労働者死傷病報告



- 1 労働災害の発生状況
- 2 転倒災害の現状
- 3 転倒災害の事例
- 4 転倒災害を防止するために

2 転倒災害の現状

転倒災害の種類

- ▶ 転倒災害は、大きく3種類に分けられます。
皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？

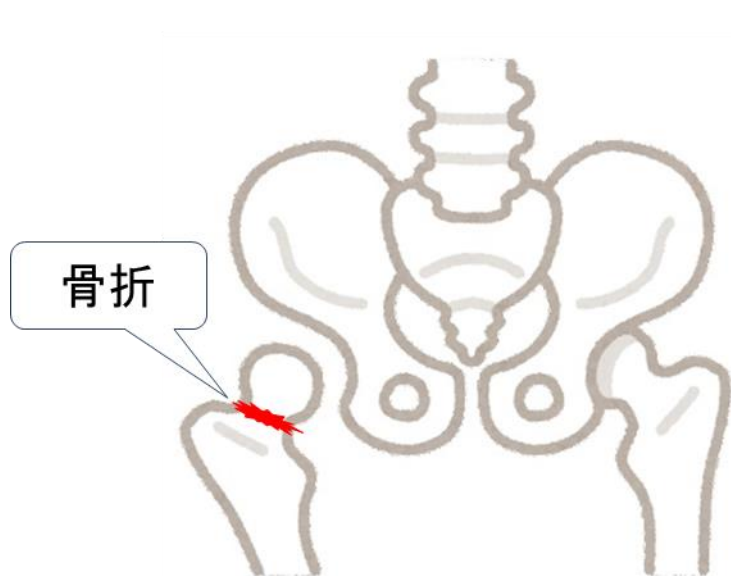


2 転倒災害の現状

転倒災害において発生する負傷

大腿骨頸部骨折

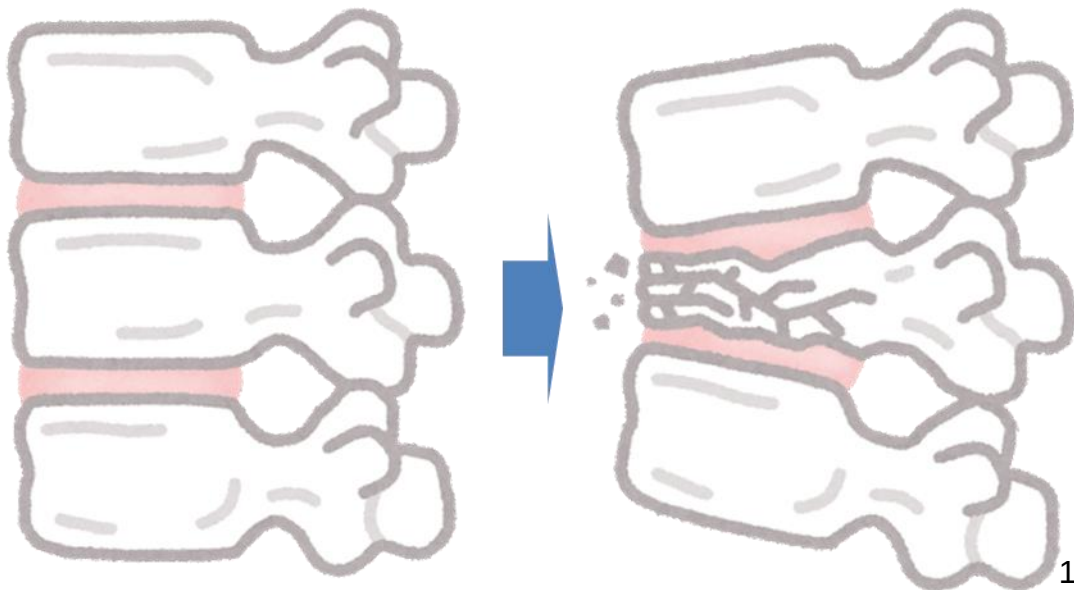
股関節（足の付け根）の中で大腿骨の骨頭を支える頸（くび）の部分の骨折。主な症状は、股関節部（脚の付け根）に痛みがあり、ほとんどの場合、立つことや歩くことができなくなります。高齢者が転倒して立ち上がれなくなった時には、まず、この骨折が考えられます。



腰椎圧迫骨折

背中を支える骨が圧迫して骨折すること。

骨が元に戻らず、奇形を残し、そのことによって神経を圧迫して激しい痛みを残すことがあります。場合によっては下半身麻痺などの寝たきり状態となります。



2 転倒災害の現状

転倒災害の負傷後の後遺症

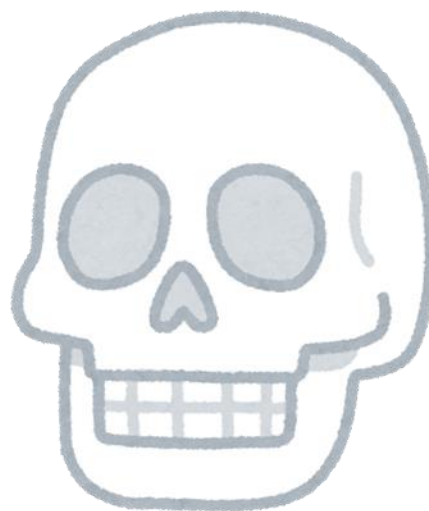
**高齢者は寝たきりになると
2年以内に半数が亡くなります。**



2 転倒災害の現状

転倒災害の負傷（頭部）

転倒による頭部への衝撃



=



体重50kgで約6kg

11～13ポンド

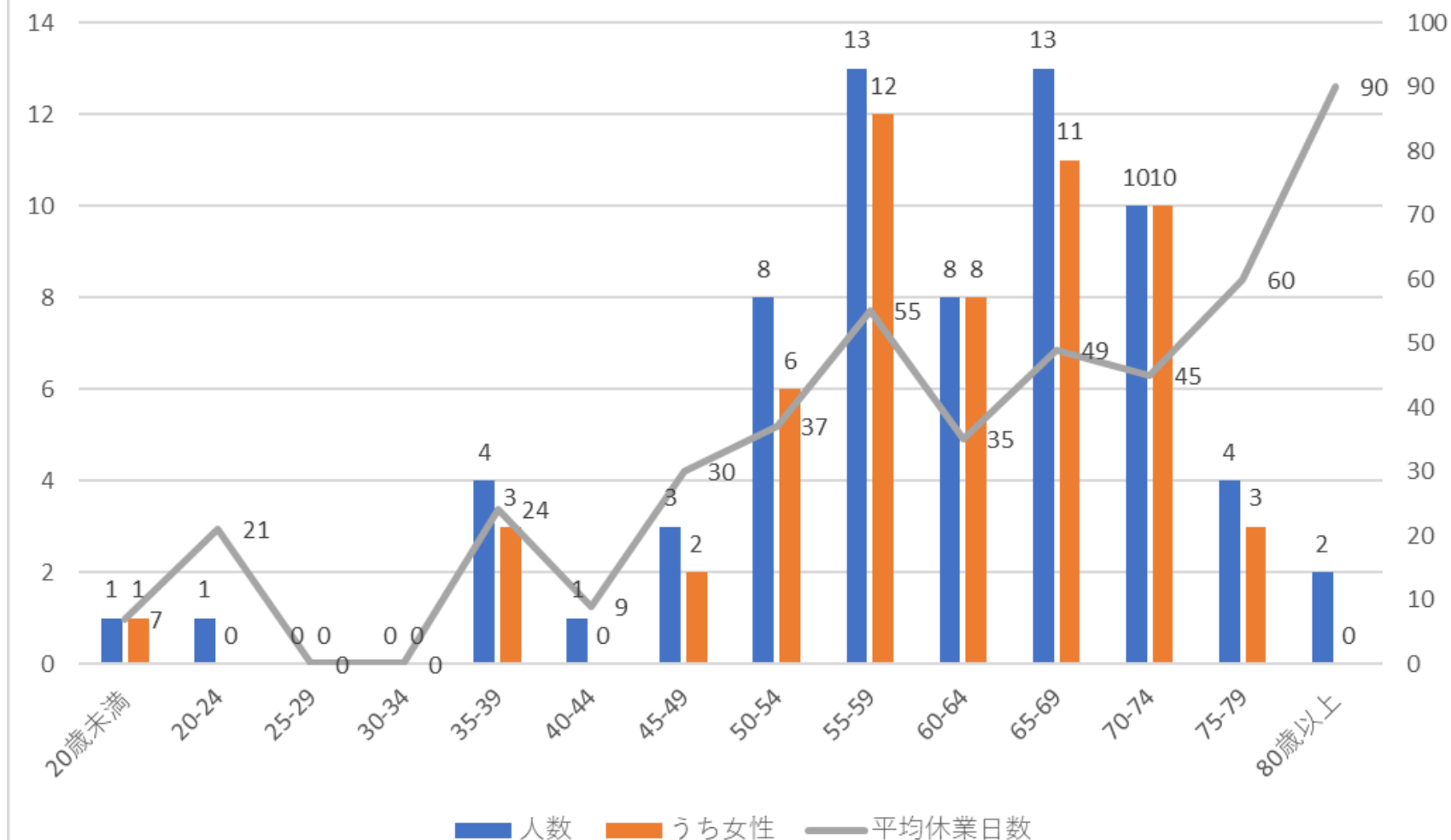
高さ50 c mで脳振動、頭蓋骨骨折の衝撃

2 転倒災害の現状

令和6年 小売業 転倒災害 年齢層別発生件数（うち女性）平均休業日数 山口局

資料出所：労働者死傷病報告

小売業における転倒災害の発生状況と休業日数



- 1 労働災害の発生状況
- 2 転倒災害の現状
- 3 転倒災害の事例
- 4 転倒災害を防止するために

3 転倒災害の事例

「つまづき」を原因とする転倒災害

- ・ 近くに置かれた台車につまづいて転倒した。 (50台後半・女性・骨折)
- ・ 通路の真ん中に置かれたカートにつまづいて転倒した。 (30台後半・女性・打撲)
- ・ 事務所に仮置きした物干しに足をとられ転倒した。 (60台前半・女性・骨折)
- ・ 開店準備の際に入り口に置かれたのぼりにつまづいて転倒した。 (40台後半・女性・捻挫)
- ・ お客様の忘れ物を届けようと走って追いかけたところ、1 c mの段差につまづいた。 (50台後半・女性・骨折)
- ・ 入り口の傘立からはみ出した傘に足を取られて転倒した。 (60台後半・女性・骨折)
- ・ 青果市場に停車中のフォークリフトの爪に足を取られて転倒した。 (60台後半・男性・骨折)
- ・ ゴミ袋を前に持って移動中、足元の台車に気づかず足を掛けた。 (40台後半・女性・捻挫)
- ・ 配達員の背後を通ろうとしたところ、配達員の足に引っ掛かった。 (60台後半・女性・打撲)

3 転倒災害の事例

「すべり」を原因とする転倒災害

- ・ 厨房で足元が濡れていて転倒した。 (70台前半・女性・骨折)
- ・ 靴底の摩耗のため、すべって転倒した。 (50台後半・女性・骨折)
- ・ 呼び出しにより急いでレジに向かったところ足を滑らした。 (50台後半・女性・骨折)
- ・ 配達先の敷地に敷かれたタイルに足をすべらした。 (40台後半・女性・捻挫)
- ・ 冷凍庫内の凍結した床で滑った。 (60台後半・女性・骨折)
- ・ 雨天にガスボンベを肩に担いで移動中、足をすべらし転倒した。 (50台前半・男性・骨折)
- ・ 清掃作業中、最後に床の水切りをしようとしたところ足をすべらした。 (60台後半・女性・骨折)
- ・ 調理場のグレイチングが濡れていて足をすべらした。 (30台後半・女性・骨折)
- ・ お客様対応で慌てて調理場に入ったところ床が濡れて転倒した。 (60台前半・女性・骨折)
- ・ 出入り口付近が凍結していたため、足をすべらした。 (50台後半・女性・骨折)
- ・ トイレの床が濡れていて転倒した。 (70台前半・女性・骨折)

3 転倒災害の事例

「踏み外し」等を原因とする転倒災害

- ・ **階段**で足を踏み外し転倒した。 (60台前半・女性・骨折)

「その他」

- ・ **走って**レジに向かう際、**別の従業員と衝突**しそうになり、立ち止まったがバランスを崩し転倒した。 (60台後半・女性・捻挫)
- ・ ロールボックスを押して移動中、**キャスターが急に止まり**、ロールボックスごと転倒した。 (60台前半・女性・骨折)
- ・ ハチの巣除去中、**ハチが寄ってきて**、慌ててしまい転倒した。 (40台前半・男性・打撲)
- ・ 品出し中、**無理な姿勢で振り返った**ため、転倒した。 (50台後半・女性・骨折)
- ・ 次の作業のため、**駆け足で移動中**、足がからまった。 (50台後半・女性・骨折)
- ・ 出入口付近に**置かれた什器**に、服がひっかかり転倒した。 (60台前半・女性・骨折)
- ・ カートに乗った商品を取ろうと**取っ手**を引いたところ、取っ手が取れたため、バランスを崩し、転倒した。 (50台後半・女性・骨折)

- 1 労働災害の発生状況
- 2 転倒災害の現状
- 3 転倒災害の事例
- 4 転倒災害を防止するために

4 転倒災害を防止するために

STOP！転倒災害

STOP! 転倒災害

令和6年の山口県内における転倒災害の発生状況

休業4日以上の
労働災害のうち
約1/4が転倒災害

転倒災害による
**平均休業日数
43日**



STOP!転倒災害プロジェクト



4 転倒災害を防止するために

STOP！転倒災害

「つまずき」の原因と対策

何もないところで ➡ 転倒や怪我をしにくい**身体づくり**のための運動プログラム等の導入 (★)

作業場・通路に
放置された物で ➡ **整理、整頓**（物を置く場所の指定）の徹底

通路等の凹凸で ➡ 敷地内（特に従業員用通路）の凹凸、陥没穴等の確認・解消

作業場や通路以外の
障害物（車止め等）で ➡ 適切な**通路の設定**、敷地内駐車場の車止めの「見える化」

作業場や通路の設備、
什器、家具で ➡ 設備、什器等の角の「見える化」

作業場や
通路のコードなどで ➡ 電気コード等の引き回し**ルールの設定**、労働者に**遵守を徹底させる**

4 転倒災害を防止するために

STOP！転倒災害

「滑り」の原因と対策

凍結した通路等で



従業員用通路の除雪・融雪、融雪マット等の設置 (★)

作業場や通路にこぼれていた
水、洗剤、油等で



水、洗剤、油等がこぼれていない状態の維持
(清掃中の立入禁止、乾いた状態を確認後の開放の徹底)

ウェットエリア
(食品加工場等) で



滑りにくい履き物の使用、隣接エリアまで濡れないよう処置
防滑床材・防滑グレーチング等の導入、摩耗の場合の再施工 (★)

雨で濡れた通路等で



雨天時に滑りやすい場所の確認、防滑処置等

(★) については、高年齢労働者の転倒災害防止のため、中小企業事業者は「エイジフレンドリー補助金」を利用できます。

4 転倒災害を防止するために

適切な「靴」を選びましょう

職場での**転倒**にご注意ください！

転倒予防のために 適切な「靴」を選びましょう

サイズ

靴と足はフィットしていますか？

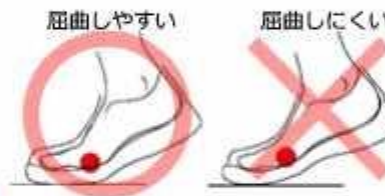
足に合った靴は疲労の軽減、事故の防止につながります。



屈曲性

親指から小指の付け根を適度に曲げられますか？

靴の屈曲性が悪いと、疲労の蓄積、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。



重量バランス

靴の前後の重さのバランスはとれていますか？

靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につま先部が上がりやすく、つまずきやすくなります。



つま先部の高さ

つま先から床面まで一定の高さがありますか？

つま先の高さが低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。



4 転倒災害を防止するために

適切な「靴」を選びましょう

靴底の減り具合

靴底がすり減っていませんか？

靴底の減りが大きい靴は、滑りやすくなります

靴底の凹凸あり

靴底の凹凸が減少



その他の性能

■静電気帯電防止性

静電気帯電による放電着火の防止と低電圧での靴底からの感電防止性能



静電

■かかと部の衝撃エネルギー吸収性

かかとのクッション性に関係し、かかと部の疲労防止性能



衝撃吸収

■耐踏抜き性

釘などの鋭利なものから足裏を防護する性能



耐踏抜き性

耐滑性の有無

靴の滑りにくさを確認していますか？

耐滑性を有する靴は、以下の箇所で確認できます。

■安全靴の場合

個装箱のJISマーク表示の近くに「F1」または「F2」の表示があるか確認してください



JIS T 8101 安全靴

CVS/F1/F1/...

■プロスニーカーの場合

靴のべろ裏面の表示に、耐滑性のピクト表示があるかを確認してください。



耐滑性

STOP! 転倒災害プロジェクト

厚生労働省と労働災害防止団体は、労働災害のうちで最も件数が多い「転倒災害」を減少させるため、「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。

STOP! 転倒

検索



4 転倒災害を防止するために

適切な「靴」を選びましょう

■作業中に重量物を取り扱うことがあるか

重量物を取り扱う場合、安全靴を着用してください



■作業中や作業後に水を取り扱うことがあるか

水を取り扱う場合、靴の表面素材は人工皮革製・ゴム製が最適です



■床の材質

塗り床／タイル／カーペット 等

床の材質で適合する靴底が変わります



■滑りが発生する場合の状況

滑りが起きた状況によって対策が変わります

(例)

- ・物につまづいた
→運搬と通路改善
- ・濡れた床で滑った
→水・油用耐滑靴検討
- ・凍結路面で滑った
→氷用耐滑靴検討



4 転倒災害を防止するために

レノファ健康・元気体操～転倒・腰痛予防のため職場で実践する健康体操



レノファ健康・元気体操 ～転倒・腰痛予防のため職場で実践する健康体操～ - YouTube

- | | | |
|---|--------------|----------|
| 1 | ストレッチ編 | (3 : 49) |
| 2 | 体づくり編 | (4 : 09) |
| 3 | レノファ健康・元気体操編 | (3 : 53) |



二次元コードはこちら





労働災害防止の取組事例

令和7年度第1回山口県小売業S A F E協議会（令和7年9月2日）

- 1 イオンリテール（株） イオン防府店
- 2 （医）和同会 宇部リハビリテーション病院
- 3 SOMPOひまわり生命保険（株）

1 イオンリテール（株）イオン防府店

- （１） 1分間体操**
- （２） 階段の下3段のマーキング**
- （３） 高さ2m以上の箇所への積載禁止**
- （４） 熱中症予防対策**

(1) 1分間体操

イオン1分間体操の実施

事業者名：イオンリテール株式会社
業種・業種：総合小売業
従業員規模：11万8千人
地域：全国

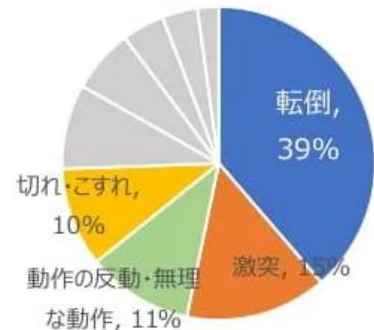


当社の労働災害は2021年を境に増加に転向しました。

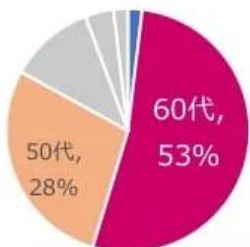
中でも転倒災害は小売業全体で増加傾向となり、当社でも同じように増加傾向となりました。そこで、(公社)日本理学療法士協会様、イオン(株)と連携・監修して頂き、小売業の働き方や就業環境、働いている人の特徴を計測した上で改善に取り組みました。

■休業4日以上災害事故の型分類

業務上災害 内訳 ▼ 単位 %



転倒の年代別内訳 ▼



年齢を重ねる程、「転倒+ケガ」のリスクは増えていることが分かる

■改善スケジュール



■実施 検証結果

23年度 転倒災害発生件数292件
(同規模昨対84.1%)

『1分間体操』を実施しなかった者と比べて、実施者では転倒歴のある者が約12%低下するなど、転倒労災リスクが軽減する可能性が示された



その他にもこんな効果が!!

一緒にやろうとコミュニケーションの場に!

より笑顔で売り場へ!

(2) 階段の下3段のマーキング

階段を下りる際に、最後の3段で転落する場合が多いため、階段下3段に黄黒テープ等を貼り、注意を促している。



(3) 高さ2m以上の箇所への積載禁止

転落・転倒災害防止のため、壁の地上高さ2mのラインに表示を行い、当該ラインを超えて商品等を積まないようにしている。



(4) 熱中症予防対策

11時、15時、19時の1日3回、店舗内の10か所でWBGT値の測定を行い、27度以上の場合は、店内アナウンスにて水分補給等を行うよう促している。

2 (医) 和同会 宇部リハビリテーション病院

- (1) SHELL分析
(労働災害の再発防止対策検討)**
- (2) 雨の日の転倒防止対策**
- (3) 書面での注意喚起**

(1) SHELL分析 (労働災害の再発防止対策検討)

労働災害発生後 2 日以内に、災害が発生した部署の職員（5 人～15 人）を参集して、要因と対応策について、SHELL分析（Sソフトウェア、Hハードウェア、E環境、L人間（他人）、L人間（当事者））を実施する。



1 か月後に対策評価用紙（対策は実施できたか、その対策のメリット・デメリット、対策ができなかった理由、新しく検討・追加した対策、被災者の被災状態の確認）を作成し、実施した対策の評価・検討を行う。

	要因	対応策
S：ソフトウェア マニュアル・規則		
H：ハードウェア 機械設備・施設		
E：環境 照明・騒音		
L：人間（他人） 当事者以外の人々		
L：人間（当事者）		

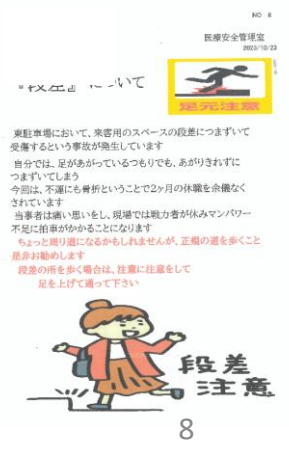
（２）雨の日の転倒防止対策

①傘立てが少ないため、傘を室内に持って入る職員が多く、傘から落ちた雫で床が濡れるため、傘袋を用意し、傘立ても増設して、床を濡らさないようにした。

②室内の雨漏りする箇所へ置いたバケツにつまずき転倒する職員がいたため、天井の部分にペットボトルを加工したものをかぶせ、そこからホースで壁側までつなぐことで、通路に障害物がない状態にした。

（３）職員への注意喚起

転倒災害防止等に関する
A4用紙 1 枚の「お知らせ」を作成し、全職員に
配布して注意喚起している。



3 SOMPOひまわり生命保険（株）



事業者名：SOMPOひまわり生命保険株式会社
業種・業種：金融・保険
従業員規模：約2,700人
地域：関東/東京

社員の平均年齢上昇を見据えた安全衛生強化策の展開！

背景（課題・ニーズ）

当社は、お客さまの健康を応援する「健康応援企業」をビジョンに掲げており、その実現には社員とその家族の健康が不可欠であると考え、**健康経営**に注力しています。当社の健康課題トップは「運動不足」であり、**社員の平均年齢も上昇傾向**であるため、職場で起こり得る**転倒の防止や腰痛の予防**の重要性が増えています。

★「オリジナル体操・第二弾」の制作★

- ◆以前より展開しているオリジナル体操「SOMPOひまわり体操」に加え、筋力強化要素を取り入れ、**高齢層に多い転倒や腰痛の予防効果が期待できる「SOMPOひまわり体操 UP BEAT STYLE」**を制作。
- ◆短時間（3分間）で業務の合間に気軽に実践できる。
- ◆転倒予防、腰痛予防・改善に加え、肩こり改善、介護予防（ロコモ/フレイル）、体幹強化、リフレッシュ、ストレス解消など、労働災害防止だけではなく様々な効果がある。
- ◆テレワークやオフィス空間でも実施できるよう、座位バージョンも制作。



体操（第一弾動画）



★「転倒防止セミナー」の継続開催★

「転倒」を防止・予防するための体づくり、腰痛等によるプレゼンティーズム低減を目的とした「転倒・腰痛予防セミナー」を**2年連続**で開催。労働災害の現状を学び、**自身の状態をチェック**したうえで、予防のためのストレッチ&エクササイズを実践。

50歳超の社員には個別に参加呼びかけ



★「健康応援ミーティング※」でのロコモ予防★

高齢層はもちろん、若年世代も含め運動機能の定期チェックを推奨し、厚生労働省スマート・ライフ・プロジェクトで紹介されている「ロコトレ」によるロコモ予防を実践した。

※毎月1回、**全職場**で実施している健康をテーマとしたミーティング



★実施効果★

※運動習慣者比率：1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合

（定性）「足腰が鍛えられた」「体力と集中力が向上した」「自身の運動不足に気づいた」「今後もストレッチを実践したい」などの社員の声が確認できた。

（定量）従業員の運動習慣者比率※の上昇（社内アンケート）：**36.3%**（取組後：2024年8月）← **24.7%**（取組前：2023年3月）

社員の安全・健康のため、今後も継続して取り組みます！

